

め ぼ 芽 生 え



編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

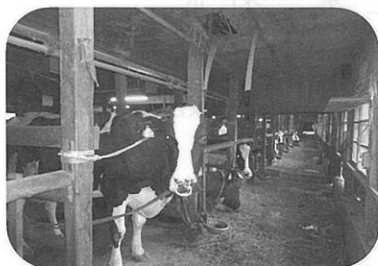
～ 人権文化が薫るまち たからづか ～

「芽生え」第8号は、我がまち宝塚の「人権」を紹介します。
今回は、障がいのある人を積極的に雇用している企業として、宝塚商工会議所の紹介で、高司にある「有限会社たからづか牛乳」を訪ねました。そこで、代表取締役の山本陽子さんと工場長の佐野紳吾さんからお話を伺いました。

障がいのある人を雇用するきっかけは？

同社では、「宝塚市障害者就業・生活支援センターあとむ」からの依頼で就労体験を受け入れ、そのことがきっかけで平成21年(2009年)から障がいのある人の雇用をおこなっており、現在は1名の女性の方を雇用しています。今年で5年目になる彼女を「初めは1年ぐらい泣いてばかりでした」と当時を懐かしそうに振り返る山本さん。「それでも、根気強くできることから始めて、全てひと通りのことはやってもらいました。今では工場長の補助を全て任せているほどになっています」。佐野さんも「いなくては困る」とおっしゃいました。

障がいのある人を雇用した当初は「どう接すればいいのか困った」とつづですが、特別視せず「普通に接している。基本的には、全てのことは『できる』』と思って接している。彼らが持っている能力をいかに引き出していかか」を大事にしているそうです。



西谷の牧場のうしさん

障がいのある人を雇用して感じたことは？

我が子の仕事ぶりを見に来られた親御さんは「ここまでできる」とビックリされるそうです。最初は、どうやって仕事を教えればよいか分からず手探り状態でしたが、「うちの会社は、障がいについて十分な知識があったわけではないが、一緒に働くなかで今では独自に積み上げてきたノウハウがある」「たとえ障がいがあっても、個々には無限の能力を持っている。取り組み方や考え方を変えれば、もっともっとできることはあるはず。結局は『人』なんですよね。支え合いが大切なんです」と佐野さんはおっしゃいました。この言葉から、持っている個性とできることの組み合わせによって、多少の時間がかかったとしても、障がいのある人を理解し、共に働き、会社を支えていこうという強い思いを感じることができました。



お仕事のようす

これからについては？

現在、会社は高司の工場と西谷の牧場のほか、宝塚南口や逆瀬川の販売店と拡大しています。その理由の一つとして「少しでも障がいのある人に雇用の機会を与える会社でありたい。就労場所を増やしたい」という思いがあります。今でも就労体験を受け入れ、「将来的には一般就労の道すじをつけていきたい」と考えています。そのためには、「営利を目的とする企業としてしっかりとした経営をしなければならぬ」という責任が感じられます。「環境を整えれば何でもできるはず。そんな企業がもっと増えてほしい」という希望を持って、およそ1時間の話が終わりました。

今回取材していくなかで感じたことは、障がいがあっても、環境や人との関わりで能力は十分に発揮できるということです。さらに山本さんと佐野さんのすてきな笑顔は、きつと働きやすい和気あいあいとした職場であろうと感じました。



高司の製造工場

【取材：大塚・山本】



役員名	名前	所属等
役員名	わくくありひ彦 久久有彦	—
副会長	うめだみさこ 梅田美佐子	総務担当
	たむらのりこ 田村の紀子	研究担当
	やまぐちたかし 山口卓	啓発・広報担当
	おぎのまさのり 荻野まさ雅の憲	会計担当
部長	おぎのまさのり 荻野まさ雅の憲	学校教育部
	かんたもりやす 神田守康	社会教育部
	もりもとみさこ 森本みさ操子	行政部
	しんたしひろ 新谷としひろ	企業部
	くぼたひさお 久保田ひさお	校区人権啓発部

芽生え

総会後には、「無縁社会」をテーマとした兵庫県人権啓発映画「ヒーロー」を鑑賞して閉会しました。

和久会長による総会宣言ののち、議事が進行されました。昨年度の活動報告や会計報告がされ、続いて今年度の新役員の選出と活動方針案、予算案といった全ての議案が承認されました。今年度も活発で実りある活動がなされることを期待しています。

定期総会に236名が集う！

2014年度の宝同協定期総会が5月20日にソリオホールで開催されました。236名のみなさんが出席され盛会に開会できました。

オープニングでは中国天津市出身で、中国笛奏者でありテノール歌手の楊雪元さんによる、素晴らしい演奏と美しい歌声を聴かせていただきました。

定期総会



オープニングで演奏される楊雪元さん



総会宣言をする和久会長

楊雪元さん ~プロフィール~

中国天津市生まれ。長春大学特殊教育学院音楽科中国笛専攻を卒業。天津市障害者芸術団に入団。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻を修了。第2回中国音楽国際コンクール器楽の部グランプリ、声楽の部第1位。第18回日本クラシック音楽コンクール声楽の部上位入賞。中国民族管弦楽会竹笛委員会名誉理事。

阪同教研究大会（宝塚大会）

多数のご参加、ご協力ありがとうございました！

7月26日（土）、第61回兵庫県人権・同和教育研究大会阪神地区大会が、宝塚市立良元小学校、兵庫県立川西高等学校宝塚良元校、宝塚市立西公民館を会場におこなわれ、阪神各市町から2,017名の参加があり、大きな成果をあげることができました。また、大会運営には前日、当日を合わせて200名を超える従事協力者にご尽力いただき、事故等もなく無事に終了できました。

なお、10月4・5日に洲本市で行われた兵人教研究大会にて宝塚小学校が発表されました。



安倉中学校の発表



宝塚市青少年補導委員連絡協議会の発表



宝塚小学校の発表



いちごネットの発表



高司小学校の発表



和太鼓集団「熱光」の発表

- 宝同協からの分科会発表者は次のとおりです。
- 「道徳の時間における人権教育の取組」
～平成25年度卒業生の3年間の実践報告～
宝塚市立安倉中学校：荒金 孝明さん、寺林 隆太さん
 - 「子どもの生きる力を育てるために」
～地域力・たからづか寺子屋教室の活用から～
宝塚市立宝塚小学校：重本 由貴さん
 - 「本校の学力保障について」
～すべての子に確かな学力を～
宝塚市立高司小学校：林 公子さん
 - 「地域の子どもを守るため」
～補導活動を通して 私たちにできること～
宝塚市青少年補導委員連絡協議会：藤村 文子さん、高井 美智子さん
 - 人権教育・啓発市民学習グループ「いちごネット」の活動
～全国人権同和教育研究大会発表後の取組と課題～
いちごネット：足立 千代さん 他7名
 - 「和太鼓を通じて人権を考える」
和太鼓集団「熱光」：阪本 鮎美さん 他9名

連載 夢と希望はどっち?

⑦ 人権標語

宝塚市人権・同和教育協議会が毎年募集している人権・同和教育啓発作品の標語・作文・ポスター・写真には優れた作品が数々あります。

昨年度の「標語の部」の最優秀・優秀の作品は次の作品です。
()にあてはまる言葉を考えてみてください。なお、学年は昨年度の学年です。

- ① 友だちが () () はほく
美座小学校 二年 福岡 進作さん
- ② ゆうきだせ それは () () だと 言えるほく
末広小学校 五年 今村 優希さん
- ③ LINEより 心ご心で () ()
長尾中学校 三年 中谷 朱里さん
- ④ 関係ないふり 見ないふり そこから () () がうまれるよ
市民 末岡 光代さん
- ⑤ こえかけて ともだち () () へ ふえました
長尾小学校 一年 野口 康成さん
- ⑥ やさしい気持ちを あらがごとく わたしも () () に あげたいな
良元小学校 三年 太田原 麻優さん
- ⑦ 悪口は 軽い気持ちで () () い罪
売布小学校 六年 馬詰 翔太郎さん
- ⑧ お陰様 お () () 様で 助け合い
南ひばり力丘中学校 三年 山田 菜里さん
- ⑨ 思いやる心を育て 人とのふれ合い () () 合い
市民 清水 博子さん
- ⑩ 手をつなぎ 心を添えて () () しな
市民 森本 義信さん

※ 答えはこのページの下をご覧ください。

【和久】

昨年度の人権・同和教育啓発作品より(作文の部)

※ 学年は昨年度の学年です

【最優秀】

思いやりの言葉を胸に

宝塚第一小学校
六年 木村 和奏さん

私が、六年生の一年間で一番がんばろう、と決心した目標は「色々な先生と出会った時自分から笑顔で大きな声を出し、あいさつをする」です。この目標を立てた理由は、だれかと笑顔で気持ち良くあいさつを交わす、それだけで、自分も、相手も明るく前向きなパワーがわいてくるからです。だから私はたくさんの人と「まほつ言葉、あいさつ」を交わせるように努力しています。

私の祖母は、よく家の道ぞいに花を植えているのですが、通りがかりの人に「いつもきれいな花を楽しみに歩かせてもらっています。」「とか、「たぐさんのすてきな花をありがとうございます。」「などと、感謝の言葉をかけられることがあるそうです。その何気ない一言で、またがんばってきれいな花を咲かせよう、という気持ちになれると言っていました。

また、出かけ先のトイレで「いつもきれいに使っていたら、ありがとうございます。」「という紙を見かけることがあります。不思議とそのトイレは美しく保たれています。」「汚いずいきれいに使ってください。」「と書かれるよりも良い印象を与える言葉だと思います。

このようなほめ言葉や感謝の言葉は、たとえ短くても、プラスに働き、良い行動を広げていきます。

これとは逆に、言葉は使い方によっては、人を悲しませるものにも、なる時があります。最近、身近なところで、仲の良かったグループが、さ細なことをきっかけに、一人対その他に分裂してしまい、とても残念です。一人一人はみんな優しい性格なのに、だれかが発したマイナスの言葉が、引き金となり、とたんに他のみんなの心にひそんでいた小さな不満を爆発させてしまったのです。集団になると、自分だけが悪いわけではない、という仲間意識が生まれ、やっていることの重さに気づかずに、仲間はずれがエスカレートしてしまいます。「ウザい」や「キモい」などの冷たい言葉で傷つけられた一人の子は、ますます素直になれず、自分の悪い点を直すことが難しくなっています。私は直接この問題に関わっていないので解決はできませんが、みんなのふんい気が和むような言葉をかけたり、一人になっている子にも思いやりをもって接することを心がけています。言葉からは人の気持ちや心が見えます。思いやりのない言葉は、相手を傷つけ、孤独にさせてしまうでしょう。反対に、相手の立場を考えた、優しい言葉は、あいさつと同じで、人を元気づけ、勇気づけ、また救ったりもできると思います。

このようなことから、私は、六年生の最初に決めた「笑顔で気持ちの良いあいさつをする。」「という目標と共に、「これからも思いやりの心をこめて、人と接していくつもりです。中学生になっても、高校生になっても、そして大人になっても、どんな時も心に留めて。

2014(平成26)年度 第4回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」のご案内

大会テーマ：『あなたに伝えたい、わたしの思い』

日 時：2015（平成27）年1月24日（土）13:30～16:30（受付は13:00～）

場 所：宝塚市立教育総合センター（宝塚市小浜1-2-1）

内 容：○ 日頃の生活の中での悩みや差別、人権の問題について考えます。

○ お互いの立場を考えながら、自らの体験や意見を積極的に出し合います。

○ 自分自身が今、出来ることを考え、共に生きる社会の実現をめざします。

日 程：全体会 13:30～14:00

・オープニング（出演者は交渉中）

・宝同協より ごあいさつと「つどい」の説明

分科会 14:10～16:30

どなたでも
ご自由に参加
できます!!

昨年度の分科会の様子

	分科会名	報告者
第1分科会	子どもの人権について考える	交渉中
第2分科会	部落差別について考える	ふかたに 深谷 かおり さん
第3分科会	障がいのある人との共生	あさい 浅井 みゆき さん
第4分科会	在日外国人の人権を考える	交渉中
第5分科会	働くということ 学ぶということ	たけもと 竹本 圭佑 さん
第6分科会	さまざまな性について考える	おおもり 大森 美千代 さん
第7分科会	インターネットにおける差別について考える	交渉中

解放文化祭の

お知らせ



まいだに解放文化祭

作品展示、発表会、人権啓発パネル展 など

11月6日(木) 9:00～21:00

米谷保育所園児によるエイサー、わくわく発見! など

11月7日(金) 9:00～19:00

おなはし会 など

人権講演会 講師：城本 勝 さん（NHK 解説副委員長）

お問い合わせ まいだに人権文化センター ☎84-4461

くらんど解放文化祭

作品展示、喫茶コーナー、出店 など

10月23日(木) 9:40～21:00

幼児おはなし会、わくわく子どもフェスティバル など

10月24日(金) 9:40～20:30

定例講座生の発表、太鼓演奏 など

人権講演会 講師：北口 末広 さん（近畿大学教授）

お問い合わせ くらんど人権文化センター ☎73-2222



ひらい解放文化祭

作品展示、お楽しみコーナー、出店 など

10月31日(金) 9:00～20:30

人権講演会 講師：富田 稔 さん（天理大学講師）

平井保育所太鼓演奏、幼児おはなし会、絵手紙教室 など

11月1日(土) 9:00～20:30

人権わくわく学級の発表 など

お問い合わせ ひらい人権文化センター ☎88-2795



宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子（編集委員長）・山口 卓・梅田 美佐子

寺田 文子・名児耶 美絵・芦田 真也・池澤 径子

山根 泰・大塚 亜紀・和久 有彦・矢田 隆宏・山本 悠

編集後記

宝塚市では「人権文化が薫るまち」としてこれからさまざまに催しが開催されます。ぜひ、多数ご参加ください。

さて、今号では昨年度の人権・同和問題啓発作品の紹介をしました。今年度も素晴らしい作品が多数応募されました。次号で入賞者を発表します。

また、1月24日に開催される第4回「人権交流学びのつどい」でも、活発な意見交流があることを期待しています。

今年度も宝同協のさまざまな活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。